

## II 資料

### 1 車いす、補助器具等の寸法

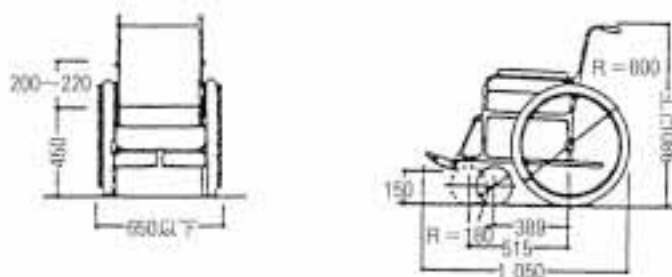
#### (1) 車いす使用者及び杖使用者の基本寸法等

建築物の屋外、屋内の各部分で、身体障害者の利用を配慮した設計を行う際に参考となる基本動作寸法について紹介する。

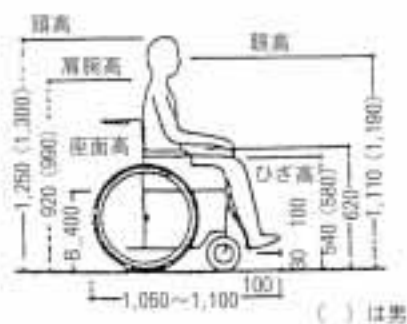
ここでの対象は、車いす使用者、杖使用者とした。この二者は、一般の建築計画で考えている人の動作寸法では不十分なことから、行動条件が補助具の性能によって大きく左右されるためである。

#### ① 車いす使用者の基本寸法（単位：mm）

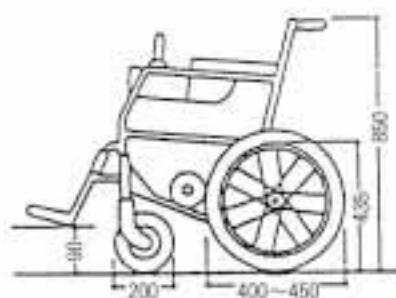
車いすの主要寸法（JIS大形）



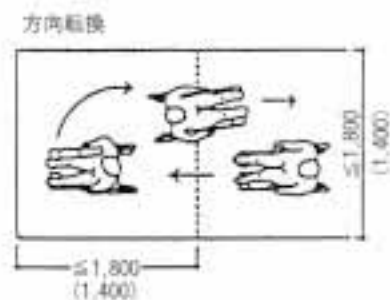
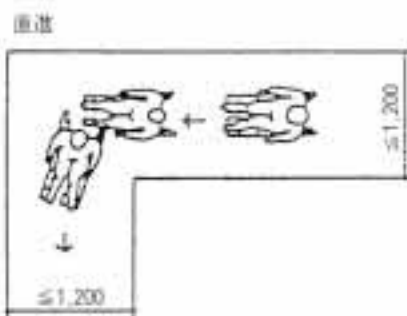
車いす使用者の主要寸法  
大形の場合 B=450



電動車いすの主要寸法

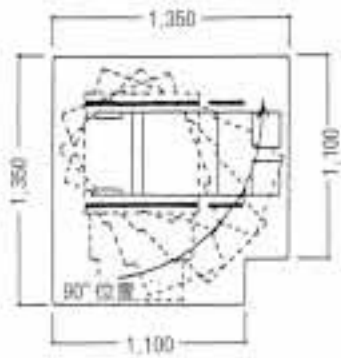


電動車いすの回転スペース

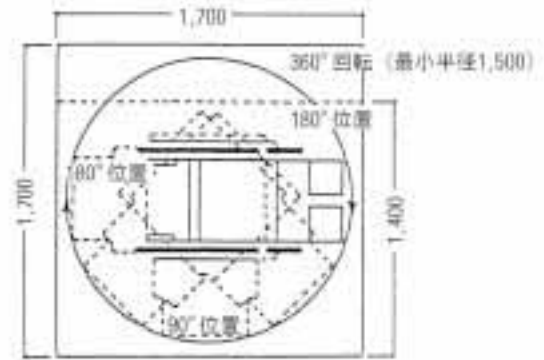


( )内は自走式車いすの場合の通行スペース

### 車いす回転に必要な寸法

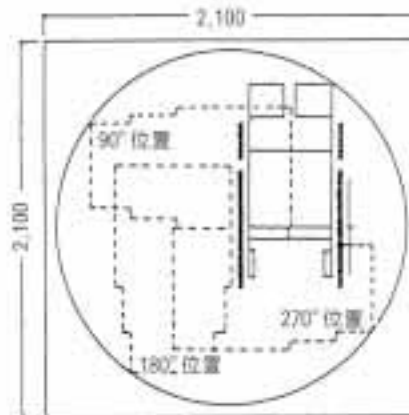
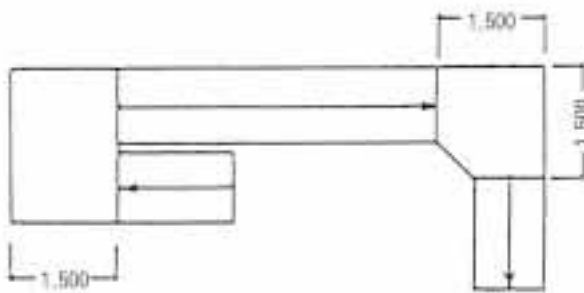


90°方向転換に必要な最小寸法



車いす中心に180°、360°回転に必要な最小寸法

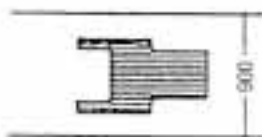
### スロープの踊り場の例



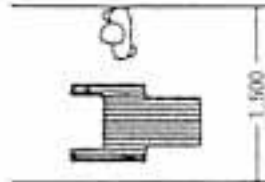
片側の車輪を中心に360°回転に必要な最小寸法

### 車いす直進の場合の寸法

通路を車いすで  
通行できる寸法

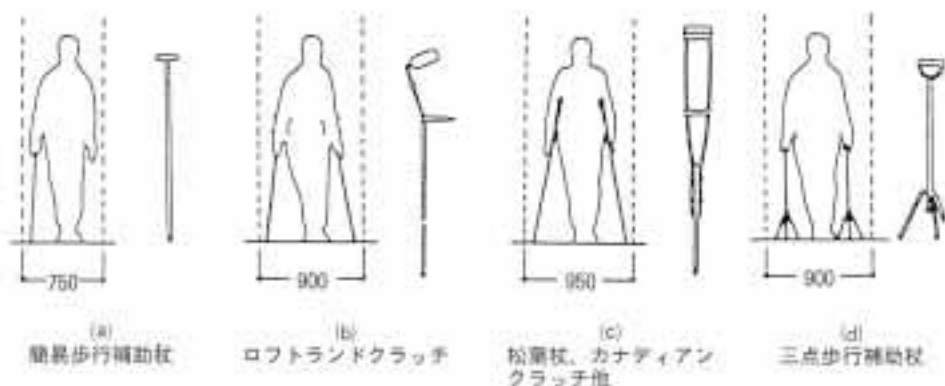


人が横向きにならずに  
車いすとすれ違える寸法

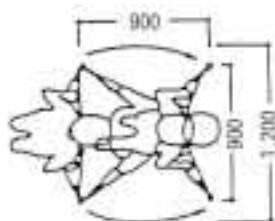


② 杖使用者の基本寸法 (単位: mm)

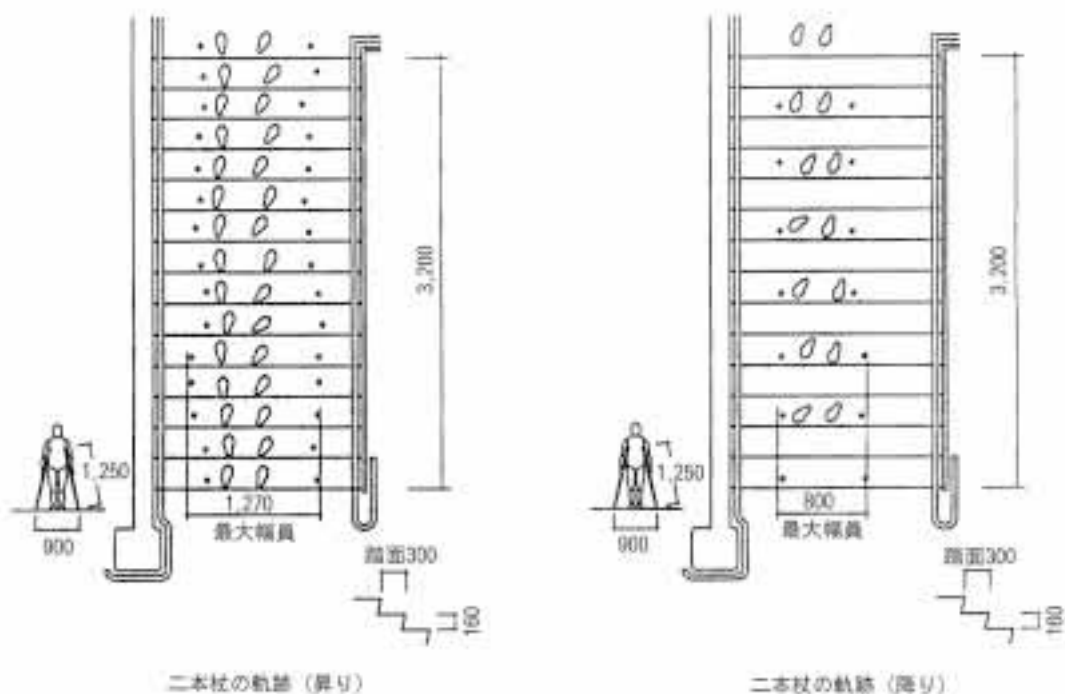
杖の種類と歩行幅



2本杖使用者の歩行時の振り幅



二本杖使用者の階段の昇降

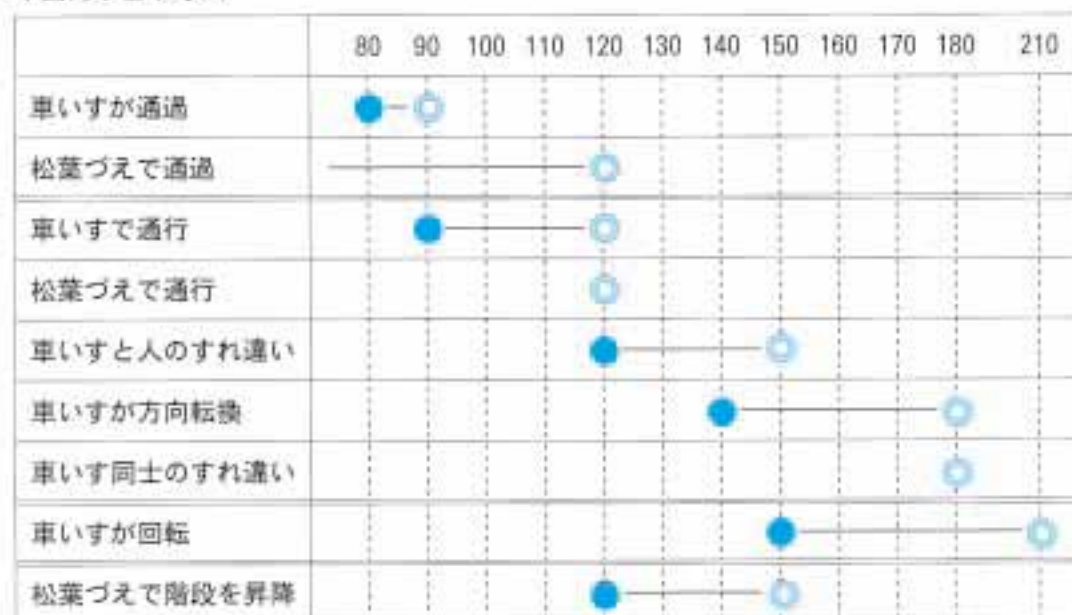


### ③ 通路等の基準寸法

整備基準やさらに望ましい基準において定められている出入口、通路、階段等に係る寸法の基本的な考え方。

80センチメートル	車いすで通過できる寸法
90センチメートル	車いすで通過しやすい寸法 通路を車いすで通行できる寸法
120センチメートル	通路を車いすで通行しやすい寸法 人が横向きになれば車いすとすれ違える寸法 松葉づえ使用者が円滑に通過できる寸法
140センチメートル	車いすが回転（180° 方向転換）できる寸法
150センチメートル	車いすが回転できる寸法（360° 回転） 人が横向きにならずに車いすとすれ違える寸法 松葉づえ使用者が円滑に上下できる階段幅の寸法
180センチメートル	車いすが回転しやすい寸法 車いす同士がすれ違いやすい寸法

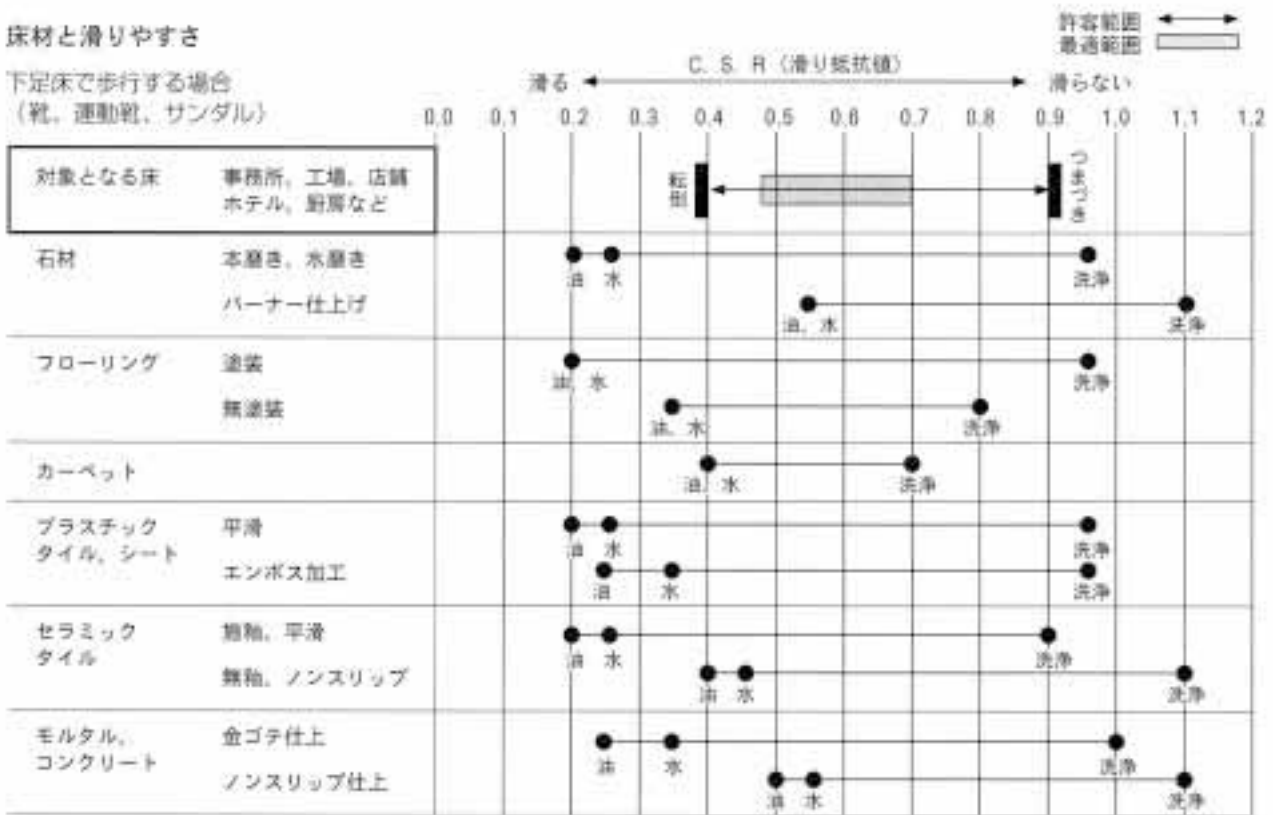
#### 平面的な基本寸法



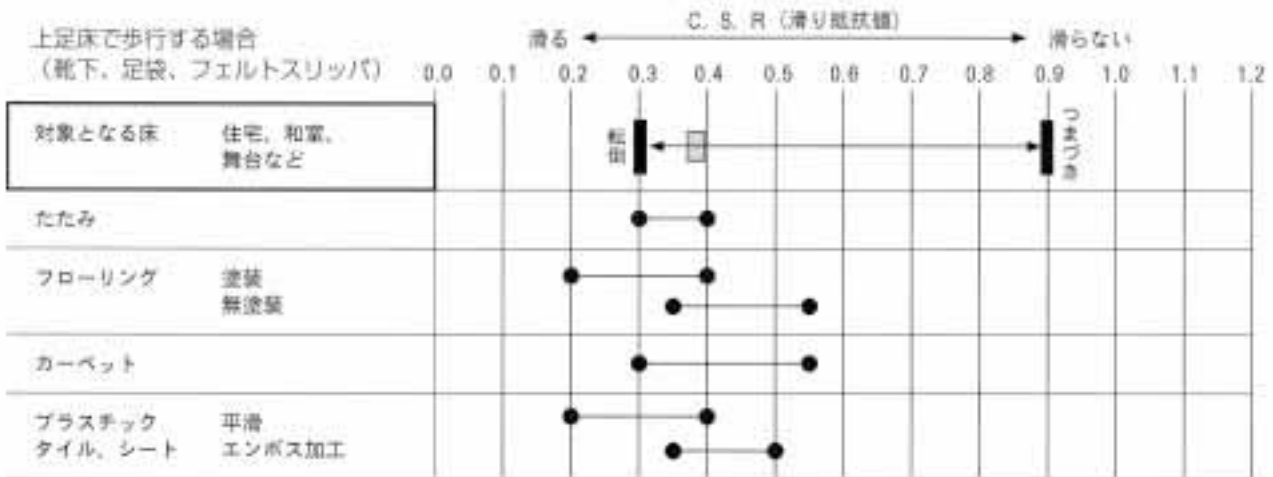
(2) 床材と滑りやすさ

床材と滑りやすさ

下足床で歩行する場合  
(靴、運動靴、サンダル)



上足床で歩行する場合  
(靴下、足袋、フェルトスリッパ)



素足で不自然な動作をする場合



### (3) スイッチとコンセント

#### スイッチの種類と特性

スイッチ類	スイッチの特性
ワイドスイッチ	手全体で操作できる。手先の細かい動作が困難でも対応可能
表示灯付スイッチ	暗いところでも容易に操作することができる
調光スイッチ	無段階調光が可能。夜間照明を制御するスイッチもある。
遅れスイッチ	一定時間後に自動的に OFF。浴室・便所の換気扇等に適する。
人感センサー付スイッチ	人の動きをキャッチして自動 ON/OFF。納戸・便所等に適する。
熱線センサー付スイッチ	人が近づくと自動 ON/OFF
自動点滅器	周囲の暗さを感知して自動的に照明を点灯させる。
ワイヤレススイッチ	離れた所からリモコン操作で ON/OFF 可能
3路（数か所）スイッチ	2か所（3か所）から一つの器具を ON/OFF 可。階段等に適する。

#### 便利なスイッチの例

表示灯付ワイドスイッチ	照明換気扇連動スイッチ	遅れスイッチ
		
人感センサー付スイッチ		タイマー付スイッチ
		
自動点滅器	調光スイッチ	
		



